

78月 ほけんのまどから

6月 感染症情報

突発性発疹：乳児4名、幼児1名

ヒトメタニューモウイルス：乳児1名

アデノウイルス：乳児1名

乳児クラスを中心に咳・鼻水・下痢症状が多くみられました。

下痢が数回あり食事がいつも通り食べられない場合は受診と無理せずお休みをお願いします。



夏に流行する感染症

ウイルス感染による起こる感染症です。症状がある場合は受診し、次回登園日に保育園で登園許可届を記入してください。

*ヘルパンギーナ

高熱と喉の痛みがあり、乳幼児の場合はよだれが増える・食欲低下、不機嫌等が主な症状



*手足口病

手のひら・足・口の中・お尻等に発疹や水疱ができる。熱はあまり高く出ないことがある



*咽頭結膜熱（プール熱）

アデノウイルスによるもの、高熱・喉の腫れや痛み・目の充血

*流行性角結膜炎（はやり目）

目の充血・かゆみ・目やに・涙が出る・まぶたの腫れなど。感染力が非常に強いため医師の指示で登園する。タオルの共有をしない。



熱中症に気をつけよう



梅雨の晴れ間、梅雨明け、お盆明けは熱中症のリスクが上がります。今の時期は外遊びをしながらからだを暑さに慣れさせる【暑熱順化】をしていきましょう。



戸外の活動時【熱中症指数計】を用いて活動します。気温・湿度・輻射熱を測定した暑さ指数を確認しながら活動を行っています。

ご家庭では、十分な睡眠と食事をとって登園してきてくださいね。胃腸炎や風邪など体調不良の時は熱中症になりやすいので無理せずお休みしたり、職員にご相談ください。